

# 創立 60 周年記念演奏会

## オラトリオ「エリヤ」 作品 70 メンデルスゾーン作曲

「エリヤ」は、フェリックス・メンデルスゾーン（1809～1847）が 38 歳という短い生涯の最晩年に書き上げた作品です。旧約聖書の「列王記」に登場する預言者エリヤの生涯を題材にしています。オラトリオ「聖パウロ」と並ぶ彼の代表作品であるばかりか、ヘンデルの「メサイア」、ハイドンの「天地創造」とともにオラトリオの傑作として知られています。敬愛する姉の訃報とこの「エリヤ」の作曲の心労が彼の寿命を縮めたと言われる様に、正に彼自身が持つ天分の全てと心血を注いだ偉大な労作だと言えます。フーガをはじめとするバッハやヘンデルの宗教音楽の伝統を基盤に、彼独自のロマンティックなメロディーや色彩感にあふれた和声法と管弦楽法に加え、劇的な内容と迫力も備えたロマン派期の最大の宗教作品です。初演の成功以来、時代を超えて演奏され、聴く者の心に大きな感銘を与えてきました。



©大形 隼平

### 指揮：角田 鋼亮（つのだ こうすけ）

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008 年第 4 回カラヤン生誕 100 周年記念コンクール第 2 位。これまでに、ベルリン・コンチェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、東京都響、東響、東京フィル、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響等と共演している。現在、セントラル愛知交響楽団指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者を務めている。2016 年、第 11 回名古屋ペンクラブ音楽賞を受賞。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。

## 名古屋市民コーラス

1959 年創立、団員数は常時 200 名を超え、オーケストラ付きの合唱曲に取り組んでいる。2019 年に迎える創立 60 周年には記念事業として 2 月にメンデルスゾーン「エリヤ」、11 月にブラームス「ドイツ・レクイエム」の演奏会を行う。また現在ヨーロッパで活躍する指揮者の柳澤寿男氏が取り組む世界平和コンサートのプロジェクトに参加しており、2020 年の東京オリンピック年に世界各国からの参加を得て開催されるコンサートに日本の中核合唱団として参加を予定している。2018 年 9 月にはそのプレコンサートとしてバルカン室内管弦楽団を招き、名古屋でベートーヴェン第九交響曲演奏会を単独開催する。



第 45 回定期演奏会 バッハ「ヨハネ受難曲」

## ★近年の演奏活動

- 2008 第 38 回定期 メンデルスゾーン オラトリオ「聖パウロ」  
指揮：下野竜也 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2009 創立 50 周年記念 J.S. バッハ 「マタイ受難曲」  
指揮：飯森範親 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2010 第 40 回定期 ハイドン オラトリオ「四季」  
指揮：鈴木秀美 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2011 第 41 回定期 ドヴォルザーク 「スターバト マーテル」  
指揮：寺岡清高 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2012 名古屋マーラー音楽祭第 2 部参加 「千人の交響曲」  
名古屋銀行チャリティーコンサート出演 ブーランク「グローリア」
- 2013 第 42 回定期 ヴェルディ 「ナブッコ」  
指揮：柳澤寿男 名古屋フィルハーモニー交響楽団  
トヨフジ ボン ボヤージュコンサート出演ベートーヴェン「第九」
- 2014 世界平和コンサートへの道名古屋公演 ベートーヴェン「第九」  
指揮：柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団 他  
創立 55 周年記念 ベートーヴェン 「荘厳ミサ曲」  
指揮：山下一史 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2015 第 44 回定期 イギリス宗教音楽の饗宴  
ヴォーン ウィリアムズ 「ドナ ノービス パーチェム」 他  
指揮：藤岡幸夫 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2016 第 45 回定期 J.S. バッハ 「ヨハネ受難曲」  
指揮：本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2017 名古屋シンフォニア管弦楽団第 70 回記念演奏会出演  
指揮：新田ユリ マーラー 交響曲第 2 番「復活」

## 練習会場案内

